

生物多様性の認知度と保全行動への取組意向（日本）

【調査概要】

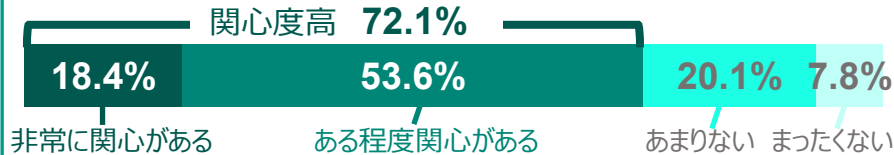
令和7年度 環境省実施調査

令和7年11月28～29日にかけて、全国の18歳以上の男女計1676人にオンラインで質問した。

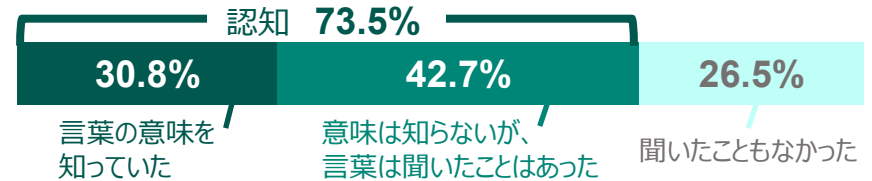
【結果】

● 自然に「関心がある」人、「生物多様性」という言葉を「認知している」人はともに **7割超**

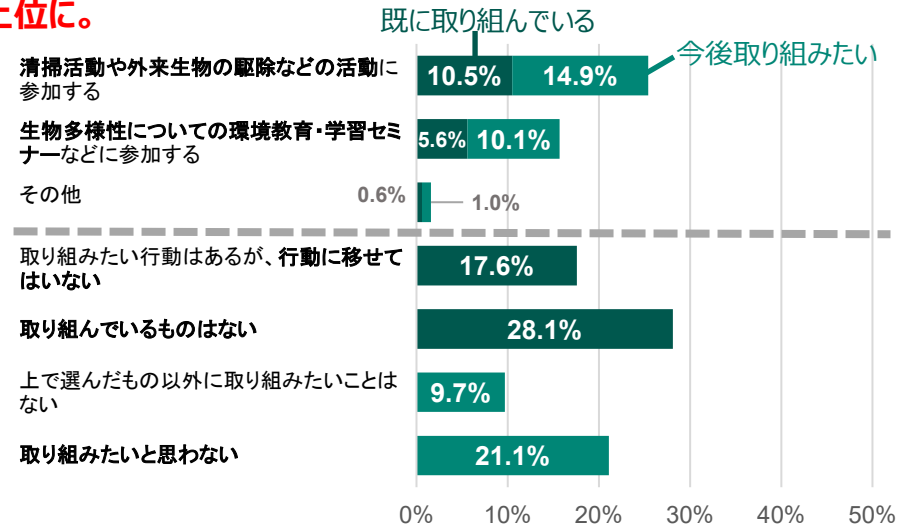
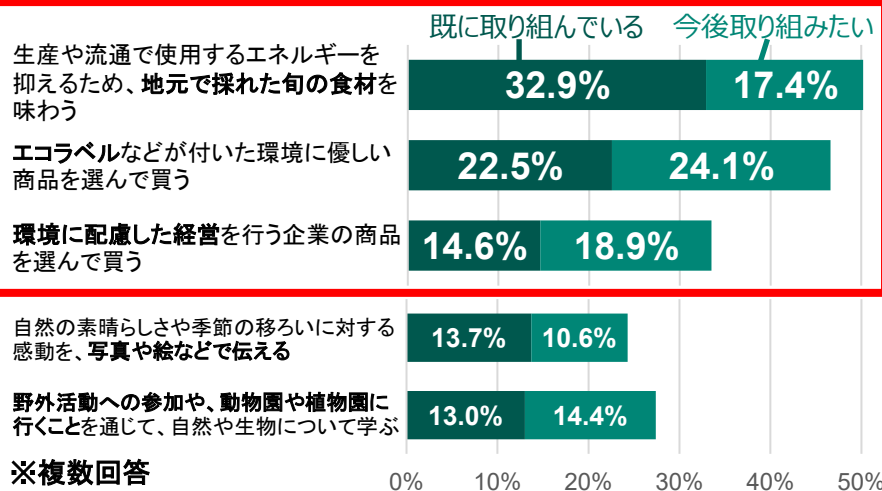
Q. 自然についてどの程度関心がありますか？



Q. 「生物多様性」の言葉の意味を知っていましたか。



● 取り組んでいる／取り組みたい生物多様性保全行動は「地元産の旬な食材を味わう」、「エコラベルなどが付いた商品を買う」、「環境に配慮した経営を行う企業の商品を選んで買う」が上位に。



【考察】

ほとんどの人が自然に関心があり、生物多様性という言葉を知っている。食を通じた生物多様性保全への貢献への関心が高く、次いで、環境負荷の低い商品や、環境に配慮した経営を行う企業の商品を選んで買いたいという意向が見られた。